



スタート「海陽中学校」新入生



海陽町議会だより

3月定例議会

発行 海陽町議会 TEL (0884) 73-4164
 編集 広報編集特別委員会 E-mail gikai@town.kaiyo.lg.jp

Vol. **20** (2011.4)

おもな内容

3月定例会補正予算	2P
一般会計予算の状況	4P
施政方針	8P
一般質問	9P
委員長報告	14P
議会の動き	16P

町産材活用住宅建築推進事業

「一棟 100 万円」補助金等決まる！

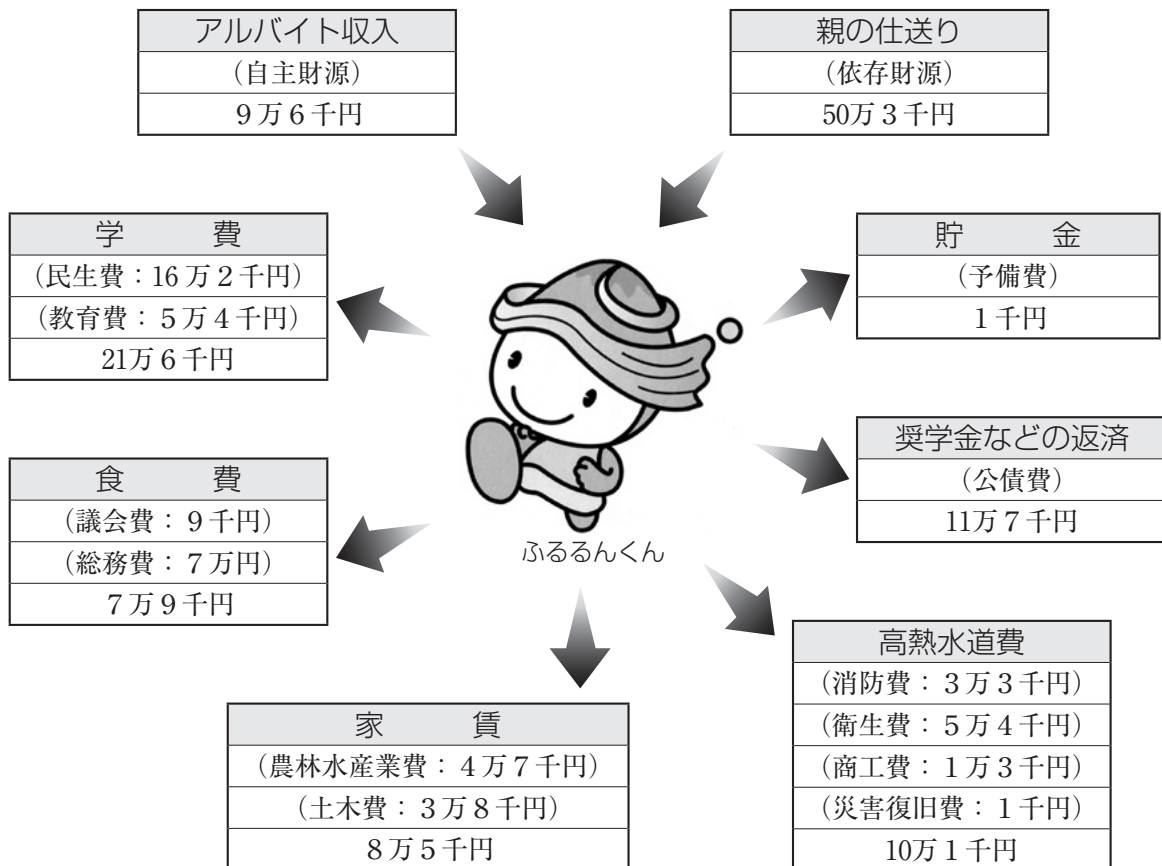
一般会計 59億9千万円

平成23年第1回海陽町議定会例会が、3月7日から10日まで開催され、平成23年度当初予算が可決されました。主な事業は、「元気になる「和」事業、浅川橋耐震補強事業、靱浦漁港橋架け替え事業、ふるさと緊急雇用事業、子宮頸がん等予防接種事業、町産材活用住宅建築推進事業補助金、太陽光発電設備設置費補助金、老朽住宅除却補助金など地域経済の活性化や住民生活の安全安心を支える事業に配分した予算編成となっています。

また、平成22年度補正予算は、きめ細かな交付金事業及び住民生活に光を注ぐ交付金事業による町道整備事業や観光施設の改修事業及び図書館の整備事業などとなっています。

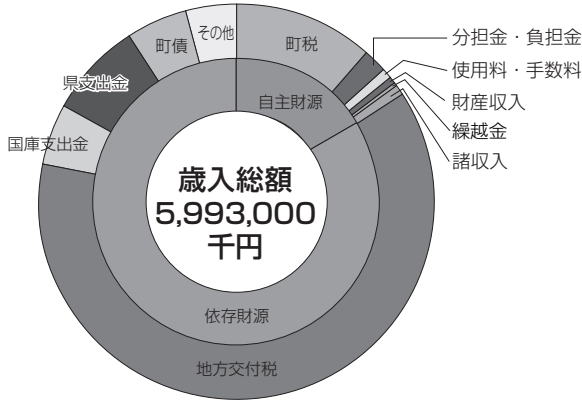
ふるるん君の家計簿

(年間59万9千円だとしたら?)



地元の木で家づくり

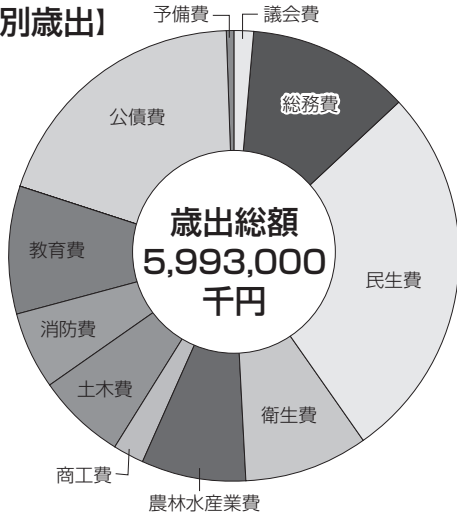
歳入



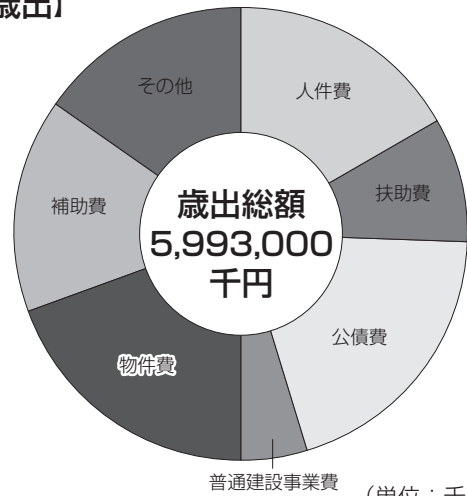
歳入項目	金額	構成比率	対前年度比率
自主財源	958,399	15.99	△ 6.92
町税	693,472	11.57	△ 2.24
分担金・負担金	115,360	1.92	△ 8.66
使用料・手数料	53,029	0.88	4.51
財産収入	39,022	0.65	10.44
寄付金	0	0.00	0.00
繰入金	350	0.01	皆増
繰越金	10,000	0.17	△ 80.00
諸収入	47,166	0.79	△ 18.54
依存財源	5,034,601	84.01	△ 2.48
地方譲与税	71,000	1.18	△ 2.87
利子割交付金	2,820	0.05	△ 19.43
配当割交付金	1,000	0.02	138.66
株式譲渡所得割交付金	520	0.01	26.83
地方消費税交付金	89,050	1.49	3.23
自動車取得税交付金	12,900	0.22	△ 18.51
地方特例交付金	18,900	0.32	182.09
交通安全特別交付金	1,500	0.03	25.00
地方交付税	3,767,088	62.86	△ 5.59
国庫支出金	292,127	4.87	2.17
県支出金	470,296	7.85	21.22
町債	307,400	5.13	△ 1.13
計	5,993,000	100.00	△ 3.21

歳出

【目的別歳出】



【性質別歳出】



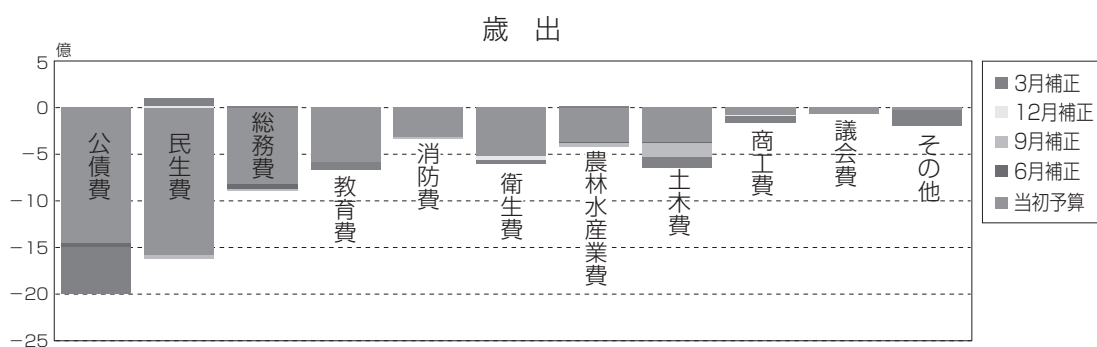
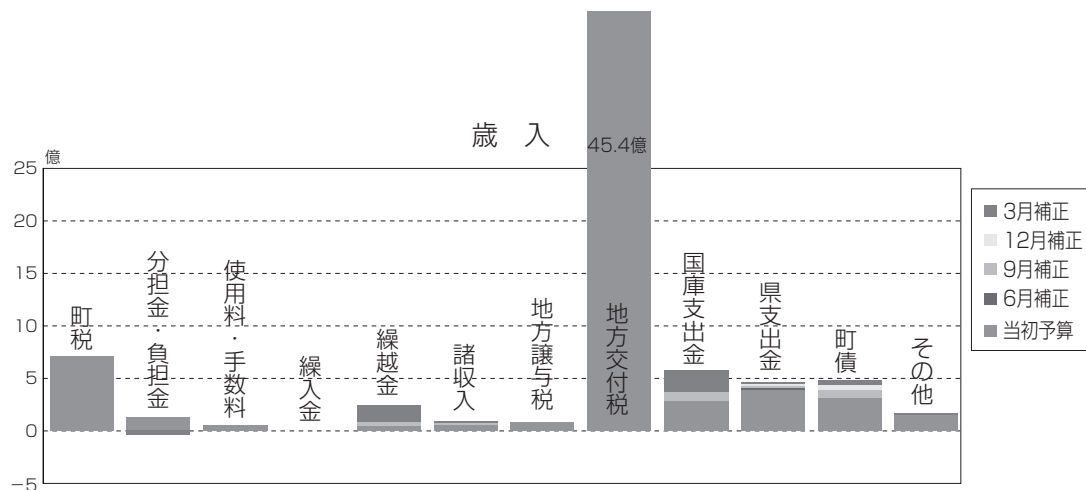
(単位：千円、%)

歳出項目	金額	構成比率	対前年度比率
議会費	92,324	1.54	29.72
総務費	702,531	11.72	△ 13.85
民生費	1,625,152	27.12	2.42
衛生費	534,960	8.93	3.78
農林水産業費	456,050	7.61	20.46
商工費	126,664	2.11	53.09
土木費	380,720	6.35	2.43
消防費	335,879	5.60	3.97
教育費	543,090	9.06	△ 5.34
災害復旧費	12,436	0.21	0.00
公債費	1,166,851	19.47	△ 19.35
諸支出	3,410	0.06	3.02
予備費	12,933	0.22	20.35
計	5,993,000	100.00	△ 3.21

(単位：千円、%)

歳出項目	金額	構成比率	対前年度比率
義務的経費	2,685,079	44.80	△ 10.98
人件費	991,720	16.55	△ 4.14
扶助費	526,508	8.79	△ 1.54
公債費	1,166,851	19.47	△ 19.35
投資的経費	305,177	5.09	23.84
普通建設事業費	292,741	4.88	25.11
災害復旧事業費	12,436	0.21	0.00
その他の経費	3,002,744	50.10	2.50
物件費	1,138,590	19.00	2.54
維持補修費	33,592	0.56	5.94
補助費	909,296	15.17	△ 12.82
積立金	3,410	0.06	0.00
投資・出資・貸付金	0	0.00	0.00
繰出金	904,923	15.10	23.91
予備費	12,933	0.22	20.35
計	5,993,000	100.00	△ 3.21

平成22年度 一般会計予算の状況



歳入	補正前	3月補正	構成比率
町税	709,341,000	▲ 4,000,000	9.5
分担金・負担金	129,407,000	▲ 45,699,000	1.1
使用料・手数料	50,743,000	0	0.7
繰入金	154,000	0	0.0
繰越金	81,317,000	155,255,000	3.2
諸収入	69,986,000	13,472,000	1.1
地方譲与税	73,100,000	0	1.0
地方交付税	4,091,587,000	448,650,000	60.9
国庫支出金	370,536,000	198,207,000	7.6
県支出金	442,203,000	16,293,000	6.1
町債	444,400,000	44,800,000	6.6
その他	153,420,000	16,178,000	2.3
合計	6,616,194,000	843,156,000	100.0

歳出	補正前	3月補正	構成比率
公債費	1,496,535,000	501,650,000	26.8
民生費	1,598,012,000	▲ 88,594,000	20.2
総務費	891,643,000	▲ 11,778,000	11.8
教育費	587,333,000	75,046,000	8.9
消防費	332,499,000	3,758,000	4.5
衛生費	556,271,000	34,796,000	7.9
農林水産業費	421,859,000	▲ 9,465,000	5.5
土木費	531,266,000	107,730,000	8.6
商工費	93,566,000	67,657,000	2.2
議会費	71,190,000	▲ 1,621,000	0.9
その他	36,020,000	163,977,000	2.7
合計	6,616,194,000	843,156,000	100.0

※歳入のその他内訳

財産収入	40,290,000
利子割交付金	3,500,000
配当割交付金	419,000
株式譲渡所得交付金	410,000
地方消費税交付金	86,260,000
自動車取得税交付金	15,831,000
地方特例交付金	20,858,000
交通安全特例交付金	1,200,000
寄付金	830,000

※歳出のその他内訳

災害復旧費	21,964,000
予備費	10,746,000
諸支出金	167,287,000

第1回定例会

議案の審議

平成23年第1回定例会は、3月7日開会、町長より次の37議案、(条例関係9件・承認関係3件・予算関係25件)が提出され審議の結果、原案どおり可決され、10日閉会した。

条例関係

- 海陽町馳馬地区揚水施設維持管理基金条例
- 海陽町国民健康保険突喰診療所財政調整基金条例
- 海陽町特別会計条例の一部を改正する条例
- 海陽町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- 海陽町穴喰ドリム館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- 海陽町運動施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- 海陽町グラウンドナイター施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- 海陽町立小中学校体育施設使用料条例の一部を改正する条例
- 海陽町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

承認関係

- 指定管理者の指定について
施設の名称
海陽町間伐材利用モデル施設「海部川総合案内所」

指定管理者として指定する団体
海部川漁業協同組合
指定の期間

- 平成23年4月1日から平成28年3月31日
- 指定管理者の指定について

施設の名称
突喰保育所
指定管理者として指定する団体
社会福祉法人 海陽町社会福祉協議会
指定の期間

- 平成23年4月1日から平成24年3月31日まで
- 平成22年度浅川橋耐震補強工事請負契約について

契約金額
既決請負契約額 1億03,950,000円
契約の相手方
大鉄工業(株) 四国支店
工期
議決のあった日の翌日から平成23年3月31日まで

予算関係

- (補正予算)
- | | | |
|----------------------------|------------|---|
| 一般会計補正予算(第4号) | 8億43,156千円 | ↑ |
| 国民健康保険特別会計予算(第3号) | 1億00,252千円 | ↑ |
| 海部公共下水道事業特別会計補正予算(第2号) | 4,297千円 | ↓ |
| 突喰公共下水道事業特別会計補正予算(第2号) | 3,770千円 | ↓ |
| 海陽町川西農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号) | 2,000千円 | ↓ |
| 海部簡易水道事業特別会計補正予算(第1号) | 847千円 | ↓ |

注釈
↑ 増額
↓ 減額

第1回定例会・第1回臨時会

・海南病院事業会計補正予算(第2号)

資本的収入 2, 300千円 ↓
資本的支出 2, 300千円 ↑

(資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額76, 431千円は、過年度分損益勘定留保資金で補てんするものとする。)

(当初予算)

一般会計予算	59億93, 000千円
国民健康保険特別会計予算	18億01, 000千円
国民健康保険施設勘定(穴喰診療所)	1億44, 350千円
後期高齢者医療特別会計予算	1億47, 179千円
介護保険特別会計予算	14億25, 681千円
浅川公共下水道事業特別会計予算	90, 132千円
海部公共下水道事業特別会計予算	1億37, 617千円
穴喰公共下水道事業特別会計予算	1億33, 477千円
神野農業集落排水事業特別会計予算	10, 820千円
川西農業集落排水事業特別会計予算	45, 752千円
日比原農業集落排水事業特別会計予算	12, 450千円
漁業集落排水事業特別会計予算	24, 763千円
川西簡易水道事業特別会計予算	8, 902千円
海部簡易水道事業特別会計予算	91, 807千円
中里簡易水道事業特別会計予算	2, 685千円
川上簡易水道事業特別会計予算	3, 327千円
鉄道経営安定基金特別会計予算	44, 840千円
上水道事業会計予算	1億45, 580千円
・営業収益	1億45, 580千円
・営業費用	1億24, 000千円
・資本的収入	4, 000千円
・資本的支出	74, 460千円

(資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額70, 460千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額2, 190千円、過年度分損益勘定留保資金60, 000千円、当年度分損益勘定留保資金8, 270千円で補てんするものとする。)

・海南病院事業会計予算

・病院事業収益 6億56, 400千円
・病院事業費用 6億56, 400千円
・資本的収入 50, 000千円
・資本的支出 97, 774千円

(資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額47, 774千円は、過年度分損益勘定留保資金で補てんするものとする。)

第1回臨時会

平成23年第1回海陽町議会臨時会は、3月30日開会、次の議案が提出され、審議の結果原案どおり可決された。

承認関係(工期変更)

平成22年度浅川橋耐震補強工事変更請負契約について

・契約金額

契約額 1億03, 950, 000円

・契約の相手方

大鉄工業(株) 四国支店

・工期

変更前 議決のあった日の翌日から平成23年3月31日まで

変更後 議決のあった日の翌日から平成24年3月19日まで

意見書

尖閣諸島をはじめ我が国の
領土領海を守るための意見書

提出者 戸田 眞理子

他5名

提出先 衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

総務大臣

法務大臣

外務大臣

国土交通大臣

防衛大臣

3月11日(金)に発生した三陸沖を震源とする東日本大震災により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、そのご家族の方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。

海陽町では、東日本大震災に対しまして次の被災者・被災地支援の実施及び計画をしています。

- 被災地支援職員派遣について

派遣地	派遣期間	職員数
宮城県仙台市	平成23年4月3日～4月7日	1名
宮城県女川町	平成23年4月8日～4月17日	2名

- 被災者の受入について

小学校等に通学することが困難となった児童について、当該学校教職員も含め、学校単位の集団受入を徳島県を通じて行う。

施政方針（要旨）

町長 五軒家憲次



故仲村議員さん、天国

でこの議会を見守って頂いているかと思えます。改めてご冥福をお祈り致します。

1月24日、第177回通常国会、菅総理は施政方針演説で平成の開国、不条理を正す政治、熟議の国会と言われた。3月1日未明、衆議院会議において可決された予算。熟議の国会とは何か、こ

ていく考え方です。

3月1日、海部高校の卒業式に出席しました。164名の方が卒業され、

卒業率は100%、進学も国公立を含め予想通りであると言われました。海部高校の校訓は「絆・学・夢」。町と同じ5年間を歩んでおります。絆が出来た、よくやったという感じが致します。

れもまた方便かとなりませんでした。私は予算は歳入から入り、歳出を見

佐東線に24年ぐらいに試行運転を考えているとのこと。もしこの夢の代物が阿佐東線に走るとなれば、大いに価値はあると確信しております。

合併時、計数的に最悪の状態であった。そして隠れた負の遺産がこれだけあるとは思わなかった。5年の経過の中で大きく変わりました。人件費約5億7千万円減額、一般職員については3億1千万円程度減りました。起債残高も約50億円減らした。経常収支比率100%超のところも

金も20億円強の貯金もできた。22年度の普通交付税は44億4千万円。特別交付税はまだ決定していないが期待できない。私なりにこの5年間は納得したと思っております。

3月3日、県の政策監が来庁し、JR北海道で開発されて

本町最大のイベントである風流マラソン。一口

に。ほぼゼロであった基

23年度の当初予算、59億9600万円、対前年度比3.2%マイナス。当初はあくまで骨格予算であって、6月、9月に肉付けをしていきたい。緊急雇用対策として、元気になる「和」事業、その他の雇用を考慮しております。



DMV (デュアル・モード・ビークル) JR北海道ホームページより

が来庁し、JR北海道で開発されてくるDMV (デュアル・モード・ビークル) を阿



海部川風流マラソン

た。車の大多数にブリが入り、ふるさと納税をしてくれ、経済収支は取れている。そして絆も出来た。4回目、5回目はどうするのか、これは万機公論に決したいと思っております。

「元気になる」「和」事業について



長尾 正大 議員

この事業が立ち上がった時、議会も満場一致で進めていくことに決まった。条例の5つの基本理念を簡単に説明すると、食に対しての意識を高め、一次産業をメインに町の産業を育てていく事業である。

平成21年、事業を始めた初年度、アイデアおにぎり、郷土料理教室、協力店や生産者を募集してプレミアム商品券等、いろいろな企画があり勢いよくスタートしたが、22年度2年目は初年度に比べると『元気になる』

「和」だより』の内容からも、少しペースダウンを感じる。

そこで、この事業を進めるにあたり、主体となる生産者や住民にこの元気になる「和」を進めると、将来どんな町になるのか、それをある程度わかりやすく示す必要があると考える。

問 明るい町の将来像を導き出せるような元気になる「和」事業を、これから生産者や住民にどのように積極的に示していくのか。

答 五軒家町長

町が生き残るためには、第一次産業が元気になること。そして商いも元気が出てくる。今がチャンスであると思う。

答 歌産業観光課長

平成22年度においては予算面、企画面においては少々沈んだところもあるが、23年度に向けて新

たな取り組みを開始していきたい。町と人が元気になるって、笑顔があふれるような町づくりを進めたい。

空き家対策について

問 町が空き家物件の情報収集し、ホームページ等を通じて情報を提供する。それにより定住促進と空き家・

廃屋減少にもつながる一石二鳥の積極的な空き家対策「空き家情報バンク」について町の考えは。

答 片田企画防災課長

他の市町村において、どれだけの効果があるのかを

調査できていない。

問 昨年度3月の定例会の一般質問で、他の議員の似たような質問に対し「慎重に対応し今後検討していきたい」との答えであったが、半年経ちどいう検討がなされたのか。

答 企画防災課長

個人の所有の土地、建物の活用であり、個人の意向が優先されるため、慎重に取り扱うべきである。土地、建物の貸し借り、売買等にもなり、行政としての関わり方も明確にすべきである。今後事業効果も含め、十分時間をかけ検討したい。



元気になる「和」条例事業 海陽町でのタマネギ有機栽培実証実験



元気になる「和」事業 「遊山箱」を使った郷土料理教室 海南小学校

般

質

問

火災警報機の設置状況



原 ひろみ 議員

問 消防法の改正で、今年5月までに全ての住宅に設置が義務づけられる。設置により火災の早期発見と人命を救うことになるが、現時点での設置状況は把握できているのか。低所得者や町営住宅への設置に対する補助の考えはあるのか。購入しても自分で設置できない人への配慮はできているのか。

答 片田企画防災課長
火災警報機の設置状況は海部消防組合により、平成22年12月時点での普及率推計結果で、管内33・5%。低所得者の方への補助は考えていない。共同購入について広

報をしているので、自主防災組織または自治会の役員さんで、設置のお手伝いをして頂ければと考えている。

医療費抑制対策は

個人も町の財政も厳しい中、益々増加する医療費をいかに抑えるかが大事。そのため病気になる事と、薬代を安くするジェネリック医薬品（特許が切れた後に、別のメーカーが同じ有効成分で作る価格が安い薬）を使用する人を増やす事が必要。

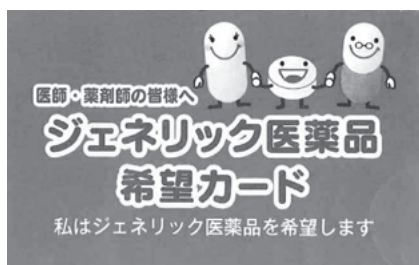
問 ジェネリック希望カードを使用してもらうよう

うに効果的指導、広報活動ができていますか。

答 奥原保健福祉課長
ジェネリック医薬品希望カードの配付及び周知を行っている。今後、よりよい効果的な広報活動について協議していく。

ジェネリック医薬品促進通知サービス

問 現在服用薬をジェネリックに変更した場合、どのくらい医療費が安くなるかを具体的に住民に通知することで、通知を受ける住民は一目で知る事ができると思うが、促進通知サービスをする予定はないのか。



ジェネリック希望カード

保健福祉課長

国保連合会などの関係機関と調整しながら協議していく。

食事、運動療法プログラムを実施しないのか

問 高額な医療費のかかる糖尿病腎症の重症化を予防するため、旧町に低料金で利用できる運動器具を設置する場所の確保はできないのか。新阿波踊り体操を町民全体に普及させてはどうか。閉校した学校の調理器具を公民館や福祉センターに移動し、誰もが参加できる料理教室を開催して頂きたい。

答 保健福祉課長
運動機器の設置、新阿波踊り体操の普及、糖尿病予防教室の開催などについて、住民のニーズ、財源的なものを含め総合的に判断し、検討していく。

災害備蓄品は確保できているのか

問 大地震に備え、どこにどの程度備蓄できているのか。オストメイト（人工肛門保有者・人工膀胱保有者）が安心して避難できるように、ストーマ用装具を備蓄する態勢はできているのか。

企画防災課長

答 企画防災課長
災害備蓄品は宍喰地区5カ所（竹ヶ島・広岡・久保・南町・津波避難タワー）、海部地区3カ所（山下・水防倉庫・海部庁舎）、海南地区6カ所（四方原・前田・平井・イナ・東・大田津波避難タワー）で、毛布・ライト・ビニールシート・簡易トイレ等を備蓄している。徳島県立南部防災館には、アルファ米・山菜おこわ・かんぱん等を常備している。

人工肛門等の装備の備蓄については備蓄倉庫がプレハブのため、長期保存ができるかが疑問で

ある。各家庭で非常持ち出し袋等に準備して頂くことが良いと考えている。

買い物代行サービス

問 ボランティアを商工会と連携し、募集や補助金援助は考えていないのか。

保健福祉課長

答 保健福祉課長
現在、買い物サポート事業というものを行っている。今後、高齢者の方が住みよい町づくりを目指して、必要な施策を講じていく。

杖専用ホルダー設置

問 より楽に庁舎等を利用できるように、杖ホルダーの設置・貸出をしてはどうか。

保健福祉課長

答 保健福祉課長
貸出については、管理運用方法などをどのように行うかなど総合的に判断し検討していく。設置については、関係所管と協議していく。

全国ほんもの体験フォーラム・ イン・徳島について



叶岡 徹 議員

年に一回ずつ開催され、開催要請は非常に多いと聞いている。漁業の体験、食事の振興等の体験がある。

問 海陽町として取り組みが不足しているように感じるが、何か問題があるのか。

答 歌産業観光課長

町内の漁業体験としては浅川湾の「養殖体験」、穴喰伝統漁法の「打ち網体験」などがあり、郡内においては11の体験メニューを持っており、発展

途中であることを除いて、特に問題はないと考える。

問 遊漁船、民泊の問題について理解を頂くために説明をしに行く場合、役場だけでは非常に難しいので、民泊を経験された方と一緒に行き、どういう状況でどういう受入が出来るのかを、責任ある立場で決定権を持っている方が行かれたほうがいいのではないかと。

答 産業観光課長

南阿波よくばり体験推進協議会は、海部郡3町

で協議会を組んでおり、事務局長の他、職員を3名雇用している。また必要に応じて各町から2〜3名が出向いている。今後、町も協力しながら協議会の運営体制を整えていく。

21年度から22年度において、参加人数、収入面においてかなりの伸びを示している。民泊で約150万円の売上増、体験漁業の観光施設等の売上も伸びている。阿佐東線の伊勢エビ局長が脱皮したところなので海陽町も早く脱皮し、みんなで

やっていかなければいけない時期。関連事業で収入アップ、交流人口の増加で海陽町にプラスになると思う。

海南幼保施設周辺の交通安全対策

四方原、五反田線の町道、野球場のグラウンドから石本クリニックの岬の間は道路状況が悪く、非常に危険である。

問 幼稚園、保育所が開所するときには把握していたと思うが、安全対策は考えていたのか。

答 福岡教育次長

通園者の交通安全対策については目配り、気配りはしている。町道と文化村施設内の横断歩道、歩行者専用のスロープを設置し安全対策を講じてきた。現時点で、町道から施設への進入は、そう

危険性はないと考えている。

答 五軒家町長

危険箇所は十分承知している。土地の所有者が住民であるので、交渉を重ねている。決して放置はしていない。

問 道路状態も悪く拡幅というのが厳しいと思うが、岬を削って低くする、登り口をなだらかにするなど、町道を改良して通りやすくできないのか。

答 町長

片方を拡幅すれば道路として余計悪くなる。歩道を含めて結論を出したい。

子ども達の命に関わるような問題なので、状況を考え一番いい方法をとって頂くようお願いしたい。



「南阿波よくばり体験」で養殖餌やり体験をする修学旅行生（浅川港）

町が目指す包括医療は



三浦 茂貴 議員

合併当初、包括医療推進プロジェクトチームを立ち上げ、また約2年前には海部庁舎に包括相談室も設置している。

問 包括相談室は現在どのように展開され、開設当初よりどのように前進しているのか。また今年度はどのように進めていく予定であるのか。

答 奥原保健福祉課長

相談件数は、昨年度は43件、今年度は現在35件である。今年度の包括医療体制については、医療

子どもを増やすために

海陽町ではこの5年で、1517人も人口減となっている。中でも、出生が随分減っており、1人産まれて5人亡くなるというような比率で、現状でも14歳以下の子どもは全体の10%にも満たない状態である。

費抑制のために、糖尿病に特化した保険事業及び介護予防のために、地域の特性、ニーズをふまえ、関係機関と連携し、計画・実行・検証を行っていく。

問 将来的にはどのような形を目指しているのか。

答 五軒家町長

海部庁舎を司令塔として、医療と介護、保険と福祉の四本柱でやりた

答 保健福祉課長

就学前までの園児を無

料にした場合は5190万6千円が必要。第2子以降は3844万6千円、第3子以降は1458万3千円、第4子以降は320万6千円となる。

問 少子化対策として、現在考えている政策があるのか。

答 保健福祉課長

少子化対策は重要な課題の一つでもあるため、今後、本町の地域性を考慮し、地域に応じた施策を講じていく。

学校の遠距離通学助成

23年度より海南、海部両中学校が統合し、海陽中学校が開校する。

問 現海南中学校の校舎を使用するということで、新たに海部地区から通学する生徒はどこを

通学するのか、通学路の歩道や街灯の安全整備などは万全であるのか。

答 福岡教育次長

通学路の設定はしていない。通学路の整備については、今の道路の状態で特に危険があるような箇所は見受けられない。

答 教育次長

問 中学校に自転車通学する学生に対して、補助が出るか聞いた。その助成は具体的にはいくらかのような形で出るので

6キロメートル以上の通学者には、初年度に限り5万円の遠距離通学補助、公共交通機関を利用する生徒は、定期券の額の補助を検討している。

海陽中学校が開校して大幅に生徒の環境が変化する。整備、説明等万全を期して欲しい。



四月から海陽中学校へ自転車通学する旧海部中学生

23年度予算編成について



長岡 秀一郎 議員

問 23年度、特色ある施策について。

答 五軒家町長

元気になる「和」をメインとして、幅広い予算を組んでいる。

問 きめ細かな交付金、地域活性化交付金等、補助金事業とは違った、自由度の高い財源を「和」の事業推進のため増額する考えはないのか。

答 町長

総額足して20、21、22年度と約15億円執行して

いる。予算内容についてそれぞれ取り方はあるうかと思うが、全方位的に判断してやっている。

問 専業農家が、新たな特産品づくりに取り組んでいる。その支援策は、

また体験型観光による入り込み客が増加している。しかし民泊希望者の受け入れ先が少ない現状がある。その整備が進めば、増加傾向が見込める。民泊受入戸数を増やすため、一括交付金を支度金制度の財源として運用してはどうか。

答 町長

農産物においては、補助金等のサポートを今回の「和」の事業においてやっている。

民泊については「よくばり体験」で対応を考えたやっている。

行財政改革について

答 町長

農産物においては、補助金等のサポートを今回の「和」の事業においてやっている。

民泊については「よくばり体験」で対応を考えたやっている。

第一ラウンドはそれなりの対応は出来たと思っ

ている。子々孫々まで本町が前進するように計画、構想は立てていくべきだと考えている。

行止めの可能性が高い。その迂回路として県道芥

附海部線より分岐している。町道落合線を海部居敷まで延長するバイパス道路を建設してはどうか。

答 町長

町がひとつになった絆の道、つけるべきものはない。時間はかかるが、ご理解を頂きたい。

問 穴喰地域における避難タワー整備推進についての考えは。

答 多田副町長

北町・穴喰浦と、あたご地区から久保八幡神社辺りにも必要であると思うが、後々の管理・運営についてお願いしなければならぬので、希望や陳情が出れば対応していきたい。



「南阿波よくばり体験」で伊勢エビ漁体験をする修学旅行生（穴喰）

答 町長

郵便局や農協と協議をしてきたが、妥協できなかつた。要は接遇。改善に向け、見直しはしていきたい。

問 行革プランが23年で終わるが、

第二弾の行革プランは考えているのか。

TAPPUNSN

問 幹線道路55号は地震、津波時には寸断され、通

災害時に対応するバイパス道路について

津波時には寸断され、通

常任委員会委員長報告

総務常任委員会

委員長 戸田眞理子

3月8日開会。最初に、浅川イナ浦上地区より陳情の出ている現場を確認。その後、3月定例会提出議案について説明を受けた。

馳馬（穴喰）地区揚水施設維持管理基金条例に関連して、将来的受益者負担についての意見が出された。また、穴喰保育所の指定管理者を海陽町社会福祉協議会とする件に関連しても、補助金を出す以上、同じ民間と競合して負けないよう、福祉面でのサービスを提供



浅川地区津波避難路巡視

してほしいとの要望があった。

平成22年度一般会計補正予算は、歳入歳出に8億4315万6千円追加し、74億5935万円とするもので、町営バス2台の購入費1200万円や、多良片山団地の屋

根修繕費等4510万円。地方債元金償還金5億1156万1千円。基金費の合計1億6397万7千円等を計上。平成23年度一般会計予算の規模は、59億9300万円。対前年度比較率では3.2%減となる。歳入予算の町税は6億9347万2千円（2.2%減）、

3月9日開会。本定例会提出案件について。①海陽町国民健康保険穴喰診療所財政調整基金条例について。1億円を積立て穴喰診療所の健全な運営を維持する。

平成23年度当初予算については、義務的経費と必要最低限の投資的経費のみの計上で、今後の政府予算状況をみながら6月以降予算計上を行いたいとの事であり、委員会所管の予算については了承した。

地方交付税は37億678万8千円（5.6%減）、国庫支出金は2億9212万7千円（4.9%減）、県支出金は4億7219万6千円（7.8%減）、町債は3億740万円（5.1%減）を見込んでいるとの説明であった。

②海陽町国民健康保険条例の改正について。保険金納付条件の改善を図るため、年4回の納付を年8回に変更する。③海南こども館の設置。穴喰ドリーム館で行っていた事業運営を海南地区でも同様に行い、放課後の学習指導、社会教育等の実施。

①海南病院事業会計について。外来患者減、医師1名減、長期入院患者増等により利益は見込めないが、地域医療の中核病院としての役目を果たすと共に、経費の節減を図りながら経営努力に努めたいとの報告があった。

文教厚生常任委員会

委員長 南谷 輝幸

①スクールバス保管整備事業2300万円。②井集会所急傾斜対策事業1670万円。③穴喰町民センター耐震診断事業447万3千円。④海南図書館改修事業567万

②海部中学校運動場について。新年度より海部小学校の運動場として使用

したいとの事で、四国財務局に対し無償貸与等で使用できるよう、格段の配慮をお願いしたいとの事。委員会全員確認し、閉会。



4月より放課後子ども教室が実施されている「海南子ども館」(旧海南幼稚園)

産業建設 常任委員会

委員長 見吉 政貴

3月7日開会。海陽町
馳馬地区揚水施設維持管

理基金条例に関連し、農業ポンプ施設現場、23年度工事に着手する伊勢田トンネル工事現場を巡視した。馳馬地区においては、河川改修で撤去される馳馬堰の代替えとなるポンプ施設維持管理のため、県から1329万7千円の補償金を基金として積立て、今後の維持管理費用に充当していくとの説明を受けた。

その後、平成22年度一般会計補正予算、平成23年度一般会計予算について説明を受けた。

産業観光課主なもの、重点分野雇用創出事業費

1億99万円。

建設課主なもの、伊勢田トンネル工事町負担分1720万円。鞆浦漁協県管漁港改修事業町負担金1510万円。橋梁架け替え、漁港エプロン舗装工事。

上下水道課主なもの、海部公共下水道特別会計予算、脇ノ宮、一字谷、海部駅前開削工事。穴喰公共下水道事業特別会計主なもの、松原地区及び県道久尾穴喰浦線管渠整備。海部簡易水道事業特別会計主なもの、脇ノ宮、一字谷地区配水管布設替工事。

以上、産業建設所管の議案20件について審議し、委員会として了承し閉会した。



浅川伊勢田農免巡視

議会のうごき

1月1日から3月31日まで

1月

- 21日 議会広報編集特別委員会
- 31日 議会広報編集特別委員会

3月

- 7日 第1回定例会（1日目）
- 7日 産業建設常任委員会
- 7日 議会運営委員会
- 8日 総務常任委員会
- 9日 文教厚生常任委員会
- 10日 第1回定例会（2日目）
- 30日 第1回臨時会

2月

- 2日 徳島県町村議会議長会役員会（徳島市）
- 2日 市町村トップセミナー（徳島市）
- 4日 海部郡議会議長会研修会（海陽町）
- 9日 全国過疎地域自立促進連盟理事会（東京都）
- 17・18日 議会広報研修会（東京都）
- 22日 議会全員協議会
- 22日 議会運営委員会
- 25日 第62回徳島県町村議会議長会総会・「自治功労・町村議会表彰」（徳島市）



議会広報編集特別委員会

全国町村議会議長会表彰

- 祝** 西山幹男 議員
町村議会議員27年以上在職功労者表彰
- 祝** 戸田真理子 議員
町村議会議員15年以上在職功労者表彰
- 祝** 長岡秀一郎 議員
町村議会議員15年以上在職功労者表彰

徳島県町村議会議長会表彰

- 祝** 南谷輝幸 議員
町村議会議員25年以上在職功労者表彰
- 祝** 島崎勝弘 議員
町村議会議員25年以上在職功労者表彰
- 祝** 高畠武夫 議員
町村議会議員11年以上在職功労者表彰
- 祝** 故仲村輝雄 議員
町村議会議員11年以上在職功労者表彰

編集後記

桜の花が満開の中、入学おめでとうございませう。また、東日本大震災で被災されました皆様には、心よりお見舞い申し上げます。当議会も全員一致で義援金をさせて頂きました。

本町におきまして、今後必ず起こるであろう東南海・南海地震に対して、防災対策をもつ一度根本から見直さなければなりません。町民の命と財産を守るために、町に提案、提言等をし、町民の皆様の声をしっかりと伝えてまいります。

内容につきましては、この議会広報でわかりやすく伝えられますよう、委員一同心して努めます。

3月議会、たくさんの方が傍聴に来て頂きありがとうございました。次回は6月議会ですので、町民の方々の傍聴をお待ちしております。

議会広報編集特別委員会
議会事務局 TEL 73-4164

